

“日本一元気な町づくり”
ふる里復興・創生「躍進の年」
一のちを守り、人を活かし・未来をつくる町



遠藤町長

令和2年第4回広野町議会定例会が12月7日から8日までの会期で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。

会期初日には、遠藤町長が第3回定例会（9月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民の皆さまにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれておりますので、主の内容の抜粋を掲載します。

新型コロナウイルス感染症対策本部

感染症対策については、感染予防の取り組みとして、「3密の回避」「マスク着用」「手洗い」の励行と感染者に対する差別や偏見がないよう呼びかけるとともに、新しい生活様式を積極的に取り入れ、各種イベント開催時や公共施設については、徹底した感染予防対策を行いました。

9月20日、23日に町内居住者に感染症患者が発生した際には、感染症対策本部会議を開催し、広野こども園、広野小中学校、二ツ沼総合公園等その他の公共施設は通常どおりの業務とする対応、社会福祉協議会で行う事業は原則中止し、広桜荘の利用者については在宅での介護対応いただくなど、高齢者の感染拡大防止の観点から利用自粛依頼をしました。発症者発生日から14日以内に実施する町主催イベントについては、感染予防対策を講じることが出来ない場合は原則中止することを決定しました。保健所で特定した濃厚接触者については、全てPCR検査を実施し、2週間の経過観察を行い、異常が無かったことを確認しました。



来庁者への検温を実施

場庁舎等の感染予防対策として、町民のご理解とご協力のもと、来庁者の検温とマスク着用、手指消毒の励行をお願いするとともに、職員の時差出勤と分散業務を実施し、新型コロナウイルス感染症予防に取り組んでいきます。

10月1日、特別定額給付金の支給対象とならなかった令和2年4月28日以降に出生した児童の子育てに要する費用の支援を目的とした「新生児子育て応援特別給付金」の申請受付を開始しました。7世帯からの申請がありました。

10月14日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休業や営業時間短縮など、県の要請に協力をお願いした町内の商店などに対し、地域経済の活性化を図るため、安心・安全ネットワーク会員を始めとする町内事業者に地元の商店や旅館・ホテルを優先して利用いただくよう広野町

総務課

9月26日、菅義偉内閣総理大臣、平沢勝栄復興大臣並びに内堀雅雄福島県知事が広野町に来町し、ふたば未来学園を訪れました。生徒たちは、地域課題の解決策を探る授業での成果や福島復興への思い、将来の夢の発表をしました。生徒達のプレゼンテーションを聞かれた菅義偉内閣総理大臣からは、高い評価と激励の言葉をいただき、生徒たちにとって大変有意義な懇談となりました。

10月5日、昨年に引き続き係長職以上の職員を対象とし、危機管理能力の向上と自然災害対応力の向上を目的に、危機管理研修を行いました。継続して本

研修を実施し、有事の際、必要な行動がとれる組織体制を構築していきます。

10月7日、双葉町にオープンした東日本大震災・原子力災害伝承館の視察を主に管理職、派遣職員を対象に実施しました。甚大な複合災害の記録や教訓、復興する過程を風化させることなく後世に継承することは被災を経験した私たちの共通の願いであります。これまでの10年を振り返り施設の展示物等を視察し、本施設がより良いものとなるよう感想、意見を福島県当局へ伝えました。

10月21日、岐阜市長が派遣職員との激励と町内の復興状況視察のため来庁されました。岐阜市からは9年に渡り9名の職員を派遣していただきました。岐阜市とはこれまでの経緯を踏まえ、友好都市としての協定の締結に向け、これからも自治体間交流を進めていきます。

10月24日、町政施行80周年を記念し、南相馬市とのパークゴルフ交流会を開催しました。今年度は広野町が南相馬市へ出向き、新型コロナウイルス感染症予防を徹底したなか、広野町50名、南相馬市90名、総勢140名の参加のもと交流を図り、親睦を深めました。今後、浜通り地方にパークゴルフ場を有する自治体へと交流の輪を広げ、広域的

な連携を進めていきます。



パークゴルフ交流会を開催

10月28日、行政区長会議を開催し、令和2年度における広野町の重点事業の進捗状況と要望の対応、新型コロナウイルス感染症対策並びに令和元年度大雨災害の復旧状況の経過等について説明を行い、行政区長から貴重なご意見をいただき、要望に対する回答をし、復興事業の理解をいただきました。

11月10日、全国町村会館で開催された福島県町村会役員会並びに福島県関係国会議員との意見交換会に出席し、福島県を取り巻く課題、震災や豪雨災害からの復興・再生策と地方創生に向けた施策について双葉地方の役員として、要望・意見交換を行いました。

11月17日、全職員を対象に特定個人情報の適正な取り扱いと情報セキュリティに関する研修会を開催いたしました。多くの個人情報を取り扱う上で、外部

復興企画課

からのサイバー攻撃による情報の流出を防ぐためのセキュリティ対策、個人情報の適正な取り扱い方法などの説明を受け、職員自身が高い意識を持ち、事故防止に取り組むことを確認しました。

11月19日、首都圏で自動車整備業を営む、ふるさと福島広野会の坂本潤之輔 会長から、自治体で払下げとなった車両1台を十分に運用できるよう整備し寄贈いただきました。町内の道路維持管理業務に使用し、広野町の復興・創生に向け前進してまいります。

10月8日、平沢勝栄復興大臣と亀岡偉民復興副大臣が来庁されました。被災地における生活再建は、道半ばであるとの観点から支援の継続を要望いたしました。

10月16日、江島潔経済産業副大臣が来庁され、議長、副議長同席の下、復興創生を進めるためには就労の場の確保が重要であることから、企業立地補助金の継続を要望しました。ALPS処理水の処分について、国の責任において早急に決定すること、丁寧な説明を行い理解が得られるよう慎重で最適な方法を講じること、新たな風評被害が復興や住民帰還の妨げとならないよう責任をもって対策を講じることが強く求めました。

10月22日、橋本聖子東京オリンピック・パラリンピック担当大臣が郡山市役所に来訪され、県内のホストタウン首長が出席、全国ホストタウン首長はオンラインで会議に参加しました。再スタートとなる東京オリンピック・パラリンピック2020は、新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、復興五輪の名のもと、アスリートファーストで大会の成功を祈願するとの意見で一致しました。

10月8日、平沢勝栄復興大臣と亀岡偉民復興副大臣が来庁されました。被災地における生活再建は、道半ばであるとの観点から支援の継続を要望いたしました。



ひろのアートイベントを開催

11月11日、国際フォーラムや演劇集団「en塾」のつながりから、インドネシア共和国大使館を訪ねました。同国はバトミントンの強豪国であり、ふたば未来学園では同国のコーチを招聘したり、留学による強化合宿を行ったりしていることから、復興ありがとうホストタウンを念頭に応援していきます。

11月13日、14日、広野ジャズフェス2020がいわき市アリオス会場とJヴィレッジを会場